

入札参加者 様

工業用水課長

質 問 回 答 書

- 1 工 事 名 : 工業用水道 東寺尾送水幹線口径 1 1 0 0 mm更新工事 (その 1)
 2 工事担当部署 : 工業用水課
 3 担 当 者 : 設計工事係長
 4 連 絡 先 : 電話番号 045-954-3331
 F A X 045-953-4274
 5 内 容

質 問 事 項	回 答
(1) 金抜き設計書 11 ページ枝番 00102 管路埋戻について、締固めは有りでしょうか、ご教示願います。	(1) 水道事業実務必携によります。なお、締固めは有りです。
(2) 金抜き設計書 12 ページ枝番 00103 管路埋戻について、締固めは有りでしょうか、ご教示願います。	(2) (1)と同様です。
(3) 金抜き設計書 12 ページ枝番 00104 路盤工について、積算条件は上層路盤でしょうか、ご教示願います。	(3) 「WJ501050 路盤工」については、使用材料が「再生粒度調整砕石 RM-40」は上層路盤、「再生クラッシャーラン RC-40」は下層路盤となります。
(4) 金抜き設計書 12 ページ枝番 00105 路盤工について、積算条件は下層路盤でしょうか、ご教示願います。	(4) (3)と同様です。
(5) 金抜き設計書 12 ページ枝番 00106 路盤工について、積算条件は下層路盤でしょうか、ご教示願います。	(5) (3)と同様です。
(6) 金抜き設計書 12 ページ枝番 00334 アスファルト舗装仮復旧(歩道部)について、アスファルト混合物は小型車割増有りでしょうか、ご教示願います。	(6) 横浜市水道局設計単価根拠集によります。なお、アスファルト舗装仮復旧(歩道部)には小型車割増しが計上されています。横浜市水道局設計単価根拠集は、市民情報センターに配架されています。
(7) 金抜き設計書 14 ページ枝番 00124 購入土、改良土について、改良土(ほぐし土量、最大粒径 40mm 建設発生土プラント渡し)でしょうか。	(7) 枝番 00124 管路埋戻(機械埋戻・バックホ)の数量は、締固め土量になります。最大粒径 40mm、建設発生土プラント渡しについてはそのとおりです。
(8) 金抜き設計書 14 ページ枝番 00124 購入土、改良土について、100m ³ 当りの割増数量をご教示願います。	(8) 改良土埋戻し 100m ³ に必要なほぐし土量は 131m ³ です。ただし、設計書内訳で計上する数量は 100m ³ です。(代価内で 131m ³ に換算しているため。) また、改良土の締固め後の変化率は 1.0 となります。
(9) 金抜き設計書 14 ページ枝番 00125 路盤工について、積算条件は上層路盤でしょうか、ご教示願います。	(9) (3)と同様です。

(10) 金抜き設計書 14 ページ枝番 00126 路盤工について、積算条件は下層路盤でしょうか、ご教示願います。	(10) (3)と同様です。
(11) 金抜き設計書 15 ページ枝番 00564 管路埋戻について、締固めは有りでしょうかご教示願います。	(11) (1)と同様です。
(12) 金抜き設計書 15 ページ枝番 01262 路盤工について、積算条件は下層路盤でしょうか、ご教示願います。	(12) (3)と同様です。
(13) 金抜き設計書 18 ページ枝番 00433 積算条件 普通押輪について、材料を含むのでしょうか、含む場合は接合部品 (K 形) でよろしいでしょうか、違う場合は型番等ご教示願います。	(13) 水道事業実務必携によります。なお、「鑄鉄管布設 メカニカル継手接合」の積算条件の「普通押輪」には、材料費は含みません。
(14) 金抜き設計書 18 ページ枝番 01401・01402・1403 鑄鉄管布設 管明示テープ工について、積算条件「有」は管明示テープを計上と考えてよろしいでしょうか、ご教示願います。	(14) 水道事業実務必携によります。なお、「鑄鉄管布設 管明示テープ工」の積算条件「有」は、天端明示作業の有無を示しています。
(15) 金抜き設計書 19 ページ枝番 01411・01412 管明示シート工について、管明示シートは第 0048 号材料費(管材費以外)内訳書に記載されている明示シートと考えてよろしいでしょうか。	(15) そのとおりです。
(16) 金抜き設計書 20 ページ枝番 00136・00137 軽量鋼矢板 人力について、採用されている水圧サポートの調整長をご教示願います。	(16) 横浜市水道局設計単価根拠集によります。なお、水圧サポートの調整長については、指定はありません。また、水圧サポートの単価については、「450mm～650mm」、「590mm～900mm」、「770mm～1300mm」、「1100mm～1800mm」、「1500mm～2200mm」の水圧サポートを平均した価格を採用しています。水圧サポートの単価は、横浜市水道局土木工事資材等単価表によります。
(17) 金抜き設計書 20 ページ枝番 00136・00137 軽量鋼矢板 人力について、支保材は基本料と賃料と考えてよろしいでしょうか、また賃料期間をご教示願います。	(17) 横浜市水道局設計単価根拠集によります。なお、支保材については基本料と賃料となります。また、100m当りの供用日は、矢板長 H=1.5m～2.0m の場合は 24.7 日、矢板長 H=2.5m の場合は 31.0 日となります。
(18) 金抜き設計書 20 ページ枝番 01194・00345・00348・00346 鋼矢板打込み・引抜について、積算条件が電動式になっていますが、施工条件明示書 3 ページでは、油圧式になっています。条件が異なりますが、設計変更と考えてよろしいでしょうか。	(18) 設計書のとおり、電動式で積算してください。なお、必要に応じて別途協議させていただきます。
(19) 金抜き設計書 24 ページ枝番 00377・00379 について、材料費は第 0048 号材料費(管材費以外)内訳書に計上されていると考えてよろしいでしょうか。	(19) そのとおりです。
(20) 金抜き設計書 24 ページ枝番 00579 について、材料費は第 0048 号材料費(管材費以外)内訳書に計上されていると考えてよろしいでしょうか。	(20) 金抜き設計書 27 ページ枝番 00579 について、材料費は第 0048 号材料費(管材費以外)内訳書に計上されています。
(21) 金抜き設計書 28 ページ枝番 00441 基礎碎石について、積算条件の RC-40 は基礎用もしくは路盤材用でしょうか、ご教示願います。	(21) 基礎用です。

(22) 金抜き設計書 28 ページ枝番 00442 管防護コンクリートについて、積算条件の「無」は小型車割増は無しと考えてよろしいでしょうか。	(22) 横浜市水道局設計単価根拠集によります。積算条件の「無」は、夜間割増が無いことを示しています。生コンクリートの小型車割増は有りとなります。
(23) 金抜き設計書 31 ページ枝番 00368 グラウト工について、グラウト注入材は深礎工用と考えてよろしいでしょうか。違う場合は、グラウト材の仕様(例:1:3モルタル)についてご教示願います。	(23) グラウト注入材の単価は、横浜市環境創造局土木工事資材等単価表によります。これは、市民情報センターに配架されています。
(24) 金抜き設計書 31 ページ枝番 00369 コンクリートについて、小型車割増・夜間割増の両方とも有りと考えてよろしいでしょうか。	(24) 生コンクリートの夜間割増は含まれていますが、小型車割増は含まれていません。
(25) 金抜き設計書 31 ページ枝番 00370 基礎砕石について、積算条件の RC-40 は基礎用もしくは路盤材用でしょうか、ご教示願います。	(25) (21)と同様です。
(26) 金抜き設計書 31 ページ枝番 00359 購入土、改良土について、改良土(ほぐし土量、最大粒径 40mm 建設発生土プラント渡し)でよろしいでしょうか。	(26) (7)と同様です。
(27) 金抜き設計書 13 ページ枝番 00359 管路埋戻について、締固めは有りでしょうか、ご教示願います	(27) 金抜き設計書 31 ページ枝番 00359 管路埋戻について、(1)と同様です。
(28) 金抜き設計書 45 ページ枝番 00417 グラウト工について、グラウト注入材は深礎工用と考えてよろしいでしょうか。違う場合は、グラウト材の仕様(例:1:3モルタル)についてご教示願います。	(28) (23)と同様です。
(29) 金抜き設計書 47 ページ枝番 01108 基礎砕石について、積算条件の RC-40 は基礎用もしくは路盤材用でしょうか、ご教示願います。	(29) (21)と同様です。
(30) 金抜き設計書 49 ページ枝番 00062 二重管ダブルパッカー工法について、グラウト材は Y001635000-00062 グラウト材でよろしいでしょうか。	(30) そのとおりです。
(31) 金抜き設計書 51 ページ枝番 00157 路盤工について、積算条件は上層路盤でしょうか、ご教示願います。	(31) (3)と同様です。
(32) 金抜き設計書 51 ページ枝番 00158 路盤工について、積算条件は下層路盤でしょうか、ご教示願います。	(32) (3)と同様です。
(33) 金抜き設計書 57 ページ枝番 00052・00448 について、材料費は第 0048 号材料費(管材費以外)内訳書に計上されていると考えてよろしいでしょうか。	(33) そのとおりです。
(34) 金抜き設計書 58 ページ枝番 00178 グラウト工について、グラウト注入材は深礎工用と考えてよろしいでしょうか。違う場合は、グラウト材の仕様(例:1:3モルタル)についてご教示願います。	(34) (23)と同様です。

(35) 金抜き設計書 59 ページ枝番 00183・00184 購入土、改良土について、改良土(ほぐし土量、最大粒径 40mm 建設発生土プラント渡し)でよろしいでしょうか。	(35) (7)と同様です。
(36) 金抜き設計書 59 ページ枝番 00185 路盤工について、積算条件は上層路盤でしょうか、ご教示願います。	(36) (3)と同様です。
(37) 金抜き設計書 59 ページ枝番 00186 路盤工について、積算条件は下層路盤でしょうか、ご教示願います。	(37) (3)と同様です。
(38) 金抜き設計書 62 ページ枝番 01145 基礎碎石について、積算条件の RC-40 は基礎用もしくは路盤材用でしょうか、ご教示願います。	(38) (21)と同様です。
(39) 金抜き設計書 63 ページ枝番 01151 基礎碎石について、積算条件の RC-40 は基礎用もしくは路盤材用でしょうか、ご教示願います。	(39) (21)と同様です。
(40) 金抜き設計書 66 ページ枝番 01337 仮囲門扉設置撤去工について、基礎コンクリートの積算条件は小型構造物でよろしいでしょうか、また型枠も小型構造物でよろしいでしょうか。	(40) 基礎コンクリート及び型枠については計上しておりません。設計書のとおり積算してください。なお、現場状況に応じて別途協議させていただきます。
(41) 金抜き設計書 67 ページ枝番 00633 路盤工について、積算条件は上層路盤でしょうか、ご教示願います。	(41) (3)と同様です。
(42) 金抜き設計書 67 ページ枝番 00634 路盤工について、積算条件は下層路盤でしょうか、ご教示願います。	(42) (3)と同様です。
(43) 金抜き設計書 71 ページ枝番 01276 取付管布設および支管取付工について、取付管の長さをご教示願います。	(43) 3m 未満としています。詳細は(102)をご参照ください。
(44) 金抜き設計書 72 ページ枝番 01311 購入土、改良土について、改良土(ほぐし土量、最大粒径 40mm 建設発生土プラント渡し)でよろしいでしょうか。	(44) (7)と同様です。
(45) 金抜き設計書 72 ページ枝番 00607 路盤工について、積算条件は上層路盤でしょうか、ご教示願います。	(45) (3)と同様です。
(46) 金抜き設計書 72 ページ枝番 01312 路盤工について、積算条件は下層路盤でしょうか、ご教示願います。	(46) (3)と同様です。
(47) 金抜き設計書 73 ページ枝番 00619・00621 軽量鋼矢板 機械について、採用されている水圧サポートの調整長をご教示願います。	(47) (16)と同様です。
(48) 金抜き設計書 73 ページ枝番 00619・00621 軽量鋼矢板 機械について、支保材は基本料と賃料と考えてよろしいでしょうか、また賃料期間をご教示願います。	(48) (17)と同様です。
(49) 金抜き設計書 75 ページ枝番 01375 舗装の敷均し転圧について、アスファルト合材について小型車割増は無しと考えてよろしいでしょうか、ご教示願います。	(49) そのとおりです。

(50) 金抜き設計書 76 ページ枝番 00991・00992 とりこわし掘削積込について、積算条件「有」は 振動・騒音対策有りと考えてよろしいでしょ うか、ご教示願います。	(50) そのとおりです。
(51) 金抜き設計書 77 ページ枝番 00994・00995・ 00996 舗装の敷均し転圧について、アスファルト 合材について小型車割増は無しと考えてよろし いでしょうか、ご教示願います。	(51) そのとおりです。
(52) 購入土、改良土の埋戻し 100m ³ に対しての 使用数量をご教示願います。	(52) (8)と同様です。
(53) 共 SJ0070 号単価表枝番 00551 基礎碎石につ いて、積算条件の RC-40 は基礎用もしくは路盤材 用でしょうか、ご教示願います。	(53) (21)と同様です。
(54) 共 SJ0070 号単価表枝番 00552 鉄蓋設置につ いて、鉄蓋材料を含むのでしょうかご教示願いま す。	(54) 鉄蓋材料は含みません。無収縮モルタル は含みます。
(55) 共 SJ0070 号単価表枝番 00553 レジン Co 製ホ ックス設置について、レジン Co 製ホックス材料の上部壁 を含むのでしょうかご教示願います。	(55) 上部壁は含みません。シーリング材は含 みます。
(56) 共 SJ0070 号単価表枝番 00554 レジン Co 製ホ ックス設置について、レジン Co 製ホックス材料の底版を 含むのでしょうかご教示願います。	(56) 底版は含みません。シーリング材は含み ます。
(57) 共 SJ0070 号単価表枝番 00556 モルタル練に ついて、砂は細目・荒目・再生砂のいずれでし ょうかご教示願います。	(57) 砂は細目（洗い）になります。
(58) 下 AM00110 号内訳書について、枝番 01018 防音工基礎 SJ0480 には H 形鋼 350 の施工があり ますが、H-350 の記載がありません、設計変更と 考えてよろしいでしょうか。	(58) 設計書のとおり積算してください。なお、 必要に応じて別途協議させていただきます。
(59) 共 SJ0480 に記載ある H 形鋼 350 につい て 15m 以下とありますが、H 形鋼 350 は 12m を超え 15m 以下ですが、運搬費に 12m を超える条件の 記載がありません、設計変更と考えてよろしいで しょうか。	(59) 設計書のとおり積算してください。仮設 材運搬費は、H 鋼の長さ 12m 以内で積算してい ます。なお、必要に応じて別途協議させていた だきます。
(60) 参考内訳書の P15 枝番 00851、P16 枝番 01191、P17 枝番 00860・00861・00864、18 枝番 01397・01398、P20 枝番 00887・00888 には修理・ 損耗費は含まれるのでしょうか、ご教示願いま す。	(60) 設計書のとおり積算してください。必要 に応じて別途協議させていただきます。
(61) 金抜き設計書 P41 枝番 01365、リングビ ームですが H 鋼の曲げ加工費は含まれていますか、 ご教示願います。	(61) 設計書のとおり積算してください。必要 に応じて別途協議させていただきます。
(62) 金抜き設計書 P41 枝番 01365、図面 81/121 では鋼製山留材（350-0.15t/m）となっています が、積算上も鋼製山留材と考えてよろしいでしょ うか、また、中古品とありますが新品の 90% 価 格でしょうか、ご教示願います。	(62) 設計書のとおり積算してください。中古 品とは新品の 90% 価格であり、個別登録単価一 覧表の Y007054102- 01365 130,000 円の 90% 価格となります。（代価内で登録した単価に 90% を乗じて計算しています。）
(63) 参考内訳書 P5 鋼材の数量に防音壁基礎工 の材料が抜けていると思われませんが、参考内訳書 P34 の枝番 01065, 01066, 01067 に計上されてい るのでしょうか、ご教示願います。	(63) 参考内訳書 P34 の枝番 01065, 01066, 01067 に鋼材費は含まれていません。設計書のとおり 積算してください。なお、必要に応じて別途協 議させていただきます。

(64) 金抜き設計書 96 ページ枝番 01206 鋳鉄管布設 水圧試験費について、1 口当りの水圧試験機の数量をご教示願います。	(64) 1 口当り水圧試験機 1 台となります。
(65) 金抜き設計書 96 ページ役務費について、引き込み線工事負担金がありませんが、設計変更と考えるとよろしいでしょうか。	(65) 設計書のとおり積算してください。なお、必要に応じて別途協議させていただきます。
(66) 金抜き設計書 96 ページ役務費について、電力量料金 高圧(常時)は積算基準(P20)によると含まれません、該当の直接工事に計上と思いがいかでしょうか。	(66) 設計書のとおり積算してください。必要に応じて別途協議させていただきます。
(67) 低入資料作成について、機械・労務・材料の全体もしくは工種毎の集計が必要でしょうか、必要な場合、TJ コードの内訳の提示をお願いします。	(67) 横浜市工事請負契約に係る低入札価格取扱要綱より、入札金額の積算内訳(第 2 号様式、第 2-1 号様式、第 2-2 号様式、第 2-3 号様式)を提出することが必要です。なお、提出資料には T J コードの内訳を明示する必要はありません。
(68) 適用されている積算基準(横浜市水道局)・建設物価・積算資料は 2019 年 4 月版でしょうか、御教示願います。	(68) 積算基準は、現場説明書のとおり平成 31 年 4 月版となります。建設物価・積算資料は、平成 31 年 3 月版になります。
(69) 現場事務所を都市計画道路用地内に設置した場合、公共用地使用の補正は有りますか、ある場合は補正率をご教示願います。	(69) 補正はありません。現場事務所の設置に際しては、用地管理者との協議が必要と考えております。
(70) 管材費について、第 0046・0047 号内訳書以外で管材費がありますでしょうか。	(70) ありません。
(71) 発進立坑施工地内に近隣の方の車両及び出入り用道路がありますが、どのように対処したらよいかご教示願います。	(71) 対象の近隣住民の方から了承を得ております。なお、車両の出入りの対応については、別途協議が必要と考えています。
(72) 到達立坑の作業場に作業員休息所及びトイレ等の設置は可能でしょうか、ご教示願います。	(72) トイレ等の設置に際しては、用地管理者と協議が必要と考えています。
(73) 発進立坑作業ヤードの除草について、積算基準(P19)準備費④に該当する刈草の搬出及び処分費は設計変更と考えるとよろしいでしょうか。	(73) 設計書のとおり積算してください。なお、必要に応じて別途協議させていただきます。
(74) 金抜き設計書 71 ページ枝番 00618 削孔費について、夜間になっていますが、補正は有るのでしょうか、ご教示願います。	(74) 夜間表示になっていますが、夜間補正はされていません。
(75) 個別登録単価一覧表の TJ0371・TJ0372・TJ0382・TJ0383・TJ0391・TJ0392・TJ0393・TJ0394 について、パネルの損料額を「下水道用設計標準歩掛表平成 25 年版一別冊 参考資料(横浜市環境創造局) P117 防音壁工の積算要領」と環境創造局公表単価の防音パネル基礎価格に基づき計算すると供用日数が十数日となり、オープンケーソン工及びシールド工の工程計算が合いません。供用日数及び基本料率をどのように計算されているか、ご教示願います。	(75) 設計書のとおり積算してください。なお、計算方法は次式によって算出しています。 「損料額=基礎価格(円)×損料率 *損料率= 基本料率+(1/(耐用年数×365 日))×供用日数 *基本料率=20% *耐用年数=4 年 」 防音パネルの供用日数は、防音壁で 1420 日、防音ハウスで 1047 日となります。なお、必要に応じて別途協議させていただきます。
(76) 金抜き設計書 80 ページ枝番 01334 切羽照明に電気使用料金は含まれていますか、ご教示願います。	(76) 電気使用料金は含まれていません。別途金抜き設計書 96 ページ第 0935 号役務費 枝番 01336 電力量料金 高圧(常時)において計上しています。

<p>(77) 金抜き設計書95ページ枝番01260,01261の家屋事前事後調査は、材料費、その他原価、一般管理費を含み、管理費区分9であると考えてよろしいでしょうか、ご教示願います。また、「まるめ」は有りますか。</p>	<p>(77) そのとおりです。なお、経費の管理費区分については(178)をご参照ください。また、「まるめ」はありません。</p>
<p>(78) 共SJ0090号 枝番00812水の数量について、0.8m³となっておりますが粘性低下材の数量と比較してあまりにも少ない数量ですが、どの様に算出されたのか、ご教示願います。</p>	<p>(78) 設計書のとおり積算してください。なお、必要に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(79) 図面番号60/121 NO.1発進立坑構造図(参考図)において、水中コンクリート(t=3800)が底版下面まで打設される構造となっております。水中コンクリートの施工精度を考慮しますと、後打設の調整コンクリートが必要と思われます。これについて考え方をご教示願います。</p>	<p>(79) 調整コンクリートは想定しておりません。設計書のとおり積算してください。現場状況に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(80) 図面番号117/121 No.1発進立坑用地整備図(参考図)平面図の用地整備範囲(整備高TP+46.5m)において、土留壁が北面側と西面側にありますが南面側にはありません。法で仕上げた場合、図面番号112/121の仮囲い設置範囲を超えらると思われますが、考え方をご教示ください。</p>	<p>(80) 用地整備範囲は仮囲い設置範囲を超えない計画です。現場状況に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(81) 図面番号117/121 No.1発進立坑用地整備図(参考図)土留工構造図はありますが、自立杭で根入れが1.5mとなっております。構造照査の結果、変更が必要な場合は設計変更と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>(81) 必要に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(82) 図面番号114/121 防音壁(基地全体)(参考図)の梁伏図範囲におけるGL(設置基面高)は図面番号117/121 No.1発進立坑用地整備図(参考図)の用地整備範囲(整備高TP+46.5m)と整合していません。考え方をご教示ください。</p>	<p>(82) 現場状況に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(83) 発進立坑作業ヤードについて、架空線が低い位置にあります、車両の出入りに支障ある場合、架空線の防護・移設は設計変更と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>(83) 現場状況に応じて別途協議させていただきます。</p>

<p>(84) 発進立坑及び到達立坑・推進立坑等の築造にあたり、地下埋設物の有無をご教示願います。埋設物有りの場合、試掘調査・切廻し等は設計変更と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>(84) 発進立坑用地内に地下埋設物はありません。到達立坑築造部周辺には電力ケーブルが埋設されており（移設予定は施工条件明示書、P3, 8 工事支障物件関係 参照）、到達立坑築造前に移設となります（工事対象外です）。また、街灯ケーブルが到達立坑横の歩道部に埋設されており、第4路線開削時、並びに鋼製さや管推進工法の到達立坑築造（設計図 49/121 参照）時に支障となるため移設が生じます。街灯ケーブル移設の費用は内訳書第 0037 号に計上しています。なお、街灯ケーブルは立坑築造に影響ない位置関係に埋設されています。（試掘調査済み。）現場状況に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(85) 到達部立坑築造にあたり地下水の漏水がライナープレートの継ぎ目より考えられます。追加の地盤改良が必要になった場合は設計変更と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>(85) 現場状況に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(86) 到達立坑の到達坑口に地盤改良がありませんが、地盤改良が必要と考えられる状況が判明した場合は設計変更と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>(86) (85)と同様です。</p>
<p>(87) 発進立坑用地整備にあたり土留壁の築造がありますが、施工中には道路占有が必要となります。管理者協議により施工時間について制約条件が課された場合設計変更と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>(87) 現場状況に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(88) 発進立坑の補助地盤改良について、二重管ダブルパッカー工法の指定がありますが、スリーブ管は残置になりますがよろしいでしょうか。</p>	<p>(88) 現場状況に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(89) 設計書の適用年度平成 31 年 4 月 1 日に係る積算資料（物価資料等）の適用年月日をご教示願います。</p>	<p>(89) (68)と同様です。</p>
<p>(90) 内訳書第 0005 号室設置工の SJ0070 号不断水切替弁室設置工において、00552 鉄蓋設置には、鉄蓋材料を含みますか。</p>	<p>(90) (54)と同様です。</p>
<p>(91) 内訳書第 0005 号室設置工の SJ0070 号不断水切替弁室設置工において、00553、00554 ビンCO 製ボックス設置（円形）には、上部壁、底版、シーリング材等材料を含みますか。またシーリング材の単価、品名、使用量をご教示下さい。</p>	<p>(91) (55), (56)と同様です。シーリング材の単価は横浜市水道局土木工事資材等単価表によります。品名は指定していませんが、水道局特記仕様書の記載事項に準拠してください。使用量については水道事業実務必携によります。</p>
<p>(92) 内訳書第 0005 号室設置工の SJ0070 号不断水切替弁室設置工において、00556 モルタル練で使用する洗砂の規格は、コンクリート骨材の細目、荒目または 20～5mm のうちどれでしょうか。</p>	<p>(92) (57)と同様です。</p>
<p>(93) 内訳書第 0008 号管路防護工において、00442、01294 管防護コンクリート人力打設の生コンクリートの規格ご教示願います。</p>	<p>(93) 横浜市水道局設計単価根拠集によります。なお、生コンクリートの規格は 18-8-25 (高炉)です。単価は横浜市土木工事資材等単価表によります。</p>
<p>(94) 内訳書第 0009 号 埋設物防護工の 01218 吊り防護工において、使用するゴム系シートの厚さは 2.0mm で宜しいでしょうか。異なる場合は厚さをご教示下さい。</p>	<p>(94) 横浜市水道局設計単価根拠集によります。使用するゴム系シートの厚さは 2.0mm となります。</p>

(95) 内訳書第 0012 号 立坑工の 00626 山留材質料において、代価表単位は 1.0t 当たりまたは、1.26t 当たりのいずれでしょうか。	(95) 横浜市土木工事標準積算基準書によります。1.0t 当りです。
(96) 内訳書第 0012 号立坑工の 00369 コンクリートにおいて、生コンクリートの規格をご教示願います。	(96) 生コンクリートの規格は 18-8-25(高炉)です。また、生コンクリートの単価については、生コンクリート夜間割増額を増した価格を採用しています。単価は横浜市土木工事資材等単価表によります。
(97) 内訳書第 027 号 防音工の防音ハウス工において、01027 換気工の軸流ファンの運転時間は昼夜連続で 16 時間、【680 日】は稼働日数、【1047 日】は供用日数と考えて宜しいでしょうか。また、ファン運転区分は、「1 段運転」、「1 段運転 (使用モータ 1/2)」、「2 段運転 (使用モータ 1/2)」のどの条件に該当しますか。ご教示願います。	(97) 運転時間、日数については、そのとおりです。運転区分については、分けていません。ただし電力量、損料を算出するために建設機械等損料表の記載事項を使用しています。
(98) 内訳書第 0030 号鋼製さや管ボーリング推進工において、00006 メタルクラウン (鋼製さや管ボーリング) 粘性土φ550mm の単価が、登録単価一覧表に記載がありません。ご教示願います。	(98) 横浜市環境創造局土木工事資材等単価表によります。
(99) 内訳書第 0036 号 No.1 発進立坑用地整備工の 01231H 形鋼パイプロ打込みにおいて、01235 パイプロ杭打機運転及び、01236 クレーン装置付 4 t 級 2.9 t 吊の歩掛内容が不明です。ご教示願います。	(99) (135) と同様です。
(100) 内訳書第 0036 号 No.1 発進立坑用地整備工の 01337 仮囲門扉設置撤去工において、生コンの打設及び、型枠の積算条件をご教示願います。	(100) (40) と同様です。
(101) 内訳書第 0038 号仮設道路工の 01005 地先境界ブロックにおいて、生コンクリート (各種) の規格をご教示願います。	(101) (96) と同様です。
(102) 内訳書第 0039 号雨水管移設工の 01276 取付管布設および支管取付工 (市場) において、[入力条件]無、有、有、無、無とありますが、どのような積算条件 (補正係数) でしょうか。ご教示願います。	(102) 下水道用設計標準歩掛表 (国土交通省水管理・国土保全局下水道部) によります。 [入力条件]無:1、有:2、有:3、無:4、無:5 とした時、 1: 時間的制約を受ける場合の補正 2: 夜間作業の補正 3: 取付管長 3m 未満の場合の補正 4: 取付管長 5m 以上 12m 未満の補正 5: 本管の材質がコンクリート製・陶製の場合の補正となります。
(103) 内訳書第 0039 号雨水管移設工の 01195 ポンプ運転 (常時排水) は、昼間運転と考えて宜しいでしょうか。	(103) 横浜市土木工事標準積算基準書によります。昼夜間の 24h 運転です。
(104) 内訳書第 0039 号雨水管移設工の 00619、00621 軽量鋼矢板工において、支保材 (軽量金属製) の内、1 台当りの水圧手動ポンプ基本料金をご教示願います。	(104) 水圧手動ポンプの基本料金は、横浜市土木工事資材等単価表によります。
(105) 内訳書第 0925 号事業損失防止施設費の 00145 調査孔閉塞において、摘要欄には管理区: 9 の記載がありません。記載通りでしょうか。	(105) そのとおりです。管理費区分 9 の扱いは (178) をご参照ください。

(106) 内訳書第 0940 号技術管理費の 01206 鑄鉄管布設 水圧試験において、水圧試験機は 1 口当り、何日計上しますか。ご教示願います。	(106) 鑄鉄管布設 水圧試験については、水道事業実務必携の歩掛を採用しているため、口数で積算しています。そのため、水圧試験機の使用日数は算出していません。
(107) 個別登録単価一覧表の Y000210000-00369, 01005, 01107 の生コンクリート単価は、夜間割増を含んだ金額でしょうか。ご教示願います。	(107) そのとおりです。
(108) 設計図面 9/121 No. 1 両発進立坑、φ 1500mm 泥土圧シールド工法（一次覆工）、φ 1100mm 配管工（二次覆工）の工事期間中に「夜間：交替要員有 3 人/日」と記載されていますが、夜間の資機材搬入を想定しているのでしょうか。ご教示下さい。	(108) 夜間の資機材搬入は想定していません。現場状況に応じて別途協議させていただきます。
(109) 設計図面 10/121~17/121 シールドの縦断図に柱状図の記載がありませんが、シールド路線上の地質調査は実施されておりますでしょうか。その場合、柱状図の提供はいただけますでしょうか。	(109) シールド路線上の柱状図は、図番 10/121~17/121, 90/121, 91/121 に示しているとおります。
(110) 施工条件明書書 シールド・推進・PIP 工事において、「交通誘導警備員、保安施設については別添図のように配置する」と記載されていますが、別添図をご教示ください。	(110) 別添図とは、図番 9/121 (施工条件・施工規模)、112/121 (No. 1 発進基地設備概要図)、118/121 (仮設道路(既設管接続部))になります。
(111) シールド掘進の対象土層は泥岩と想定されますが、ビット交換なしで施工可能とお考えでしょうか。	(111) そのとおりです。
(112) 立坑内仮設エレベータの設置期間をご教示ください。	(112) 1050 日間になります。
(113) シールド掘進の対象土層でメタンガスの発生は懸念されるのでしょうか。	(113) メタンガス等の発生は想定していません。
(114) No. 1 両発進立坑用地での立坑築造時及びシールド施工中における資機材等の大型車の搬入時間の決まりはあるのでしょうか。	(114) 大型車の搬入時間の決まりは特にありません。搬入時間の決定に際しては、交通管理者及び地元協議が必要と考えています。
(115) 設計図面 60/121, 112/121, 116/121 防音ハウス基礎がオープンケーソン周辺の鋼矢板内側となりますが、一般部と基礎は同一形状となるのでしょうか。	(115) 現場状況に応じて別途協議させていただきます。
(116) 設計図面 90/121 発進立坑築造後に発進防護の薬液注入を実施しますが、薬液注入直上部は鋼矢板内側となるため 4m 低くなっています。1 本当りの削孔長は整地高さとなっていますが、覆工板等の架台を考えているのでしょうか。ご教示下さい。	(116) 設計書のとおり積算してください。現場状況に応じて別途協議させていただきます。
(117) 共通仮設費 第 0935 号 役務費の電力量料金の中にシールド工で使用する電力及び坑内照明電力も含まれていると思われそうですが、使用量が少ないため、他の項目で計上されていますでしょうか。ご教示願います。	(117) 設計書のとおり積算してください。必要に応じて別途協議させていただきます。

(118) 設計書 共 SJ0320 号 立坑クレーン設備のレール損料について、個別登録単価一覧表 TJ0333 では 1m 当り 178,000 円となっています。1 式当たりではないでしょうか。ご教示願います。	(118) 設計書のとおり積算してください。必要に応じて別途協議させていただきます。
(119) 設計図面 横断図 (1) ~ (3) について、セグメント外径 ϕ 1650mm となっていますが、外径の変更は協議項目としていただけますでしょうか。	(119) 外径の変更は別途協議します。なお、他企業管等の離隔制約のもと、シールドの縦横断線形を検討した際、セグメント外径 1650mm で行っており、これ以上大きい外径では施工困難と考えております。
(120) 設計書 第 0002 号 管布設工について、鋼管溶接部の内面及び外面塗装の項目がありません。設計変更と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	(120) 鋼管溶接部の塗装工は計上していません。必要に応じて別途協議させていただきます。
(121) 設計書 第 0002 号 管布設工及び設計図面 配管図 (10) (No. 2 到達立坑立ち上がり部) について、鋼管溶接は内面溶接となっています。立ち上がり部の鋼管内足場は計上されていますでしょうか。ご教示願います。	(121) 到達立坑立ち上がり部についての鋼管布設に際しては、あらかじめ鋼管を地上部で溶接した上で、立坑内に吊り下ろすものとしています。そのため、内足場は不要のため、計上していません。
(122) 本工事の積算で使用されている「積算基準」等の全ての準拠図書名及び適用年月版についてご教示下さい。	(122) 現場説明書「7 設計書の基準等について」のとおりです。別途、平成 30 年度 下水道用設計標準歩掛表 (国土交通省水管理・国土保全局下水道部) も使用しています。
(123) 本工事の積算で使用されている「建設機械等損料表」は、平成 30 年度版であると考えてよろしいでしょうか。	(123) そのとおりです。
(124) 本工事の積算で使用されている「土木工事資材等単価表」等の全ての準拠図書名・適用年月版についてご教示下さい。	(124) 横浜市水道局土木工事積算基準のとおりです。別途、横浜市環境創造局土木工事資材等単価表 (H31.4 年版) も使用しています。
(125) 本工事の積算で使用されている物価資料等で、「月間建設物価 (web 建設物価含む)」及び「月間積算資料 (積算資料電子版含む)」は平成 31 年 (2019 年) 4 月版で、単価は 2 誌平均されていると考えてよろしいでしょうか。	(125) 適用は平成 31 年 3 月版で、単価は 2 誌平均しています。
(126) 本工事の積算で使用されている市場単価は、物価資料等の「季刊土木コスト情報」及び「季刊土木施工単価」は 2019 年 1 月 (冬) で、単価は 2 誌平均されていると考えてよろしいでしょうか。	(126) そのとおりです。
(127) 設計書に複数計上されている「D4IC02300 グラウト工」に於ける注入材の単価は、環境創造局の「グラウト材 (Z403021039)」の単価を使用していると考えてよろしいでしょうか。	(127) D40IC02300 グラウト工の注入材単価は、横浜市環境創造局土木工事資材等単価表の「グラウト材 (Z403021093)」を使用しています。
(128) 設計書に複数計上されている「WJ501050 路盤工」において、使用材料が「粒度調整碎石 RM-40」は上層路盤、「碎石クワッシャー RC-40」は下層路盤と考えてよろしいでしょうか。	(128) そのとおりです。
(129) 設計書 第 0009 号 埋設物防護工 内訳書 に計上されている「01218 D2FD1310 吊り防護工」は、昼間施工であると考えてよろしいでしょうか。	(129) そのとおりです。

<p>(130)「設計書 第0023号 No.1 発進立坑工 内訳書」に計上されている「00307 TJ0105 周面摩擦低減工(φ1440mm、圧入ケツ周面、配管含む)」の内訳(使用材料・数量、計測等)についてご教示下さい。</p>	<p>(130) 内訳書 第0023号 圧入オープンケーソン工における各工種(TJ0100~TJ0109及びTJ0111)の価格は、設計図に記載の情報をもとに、水道局において価格調査(特別調査)を行ったものです。よって、内訳書に記載の、各工種(単位・数量)より下位の内訳はございません。なお、各工種の価格は個別登録単価表をご参照ください。</p>
<p>(131)「設計書 第0026号 補助地盤改良工 内訳書」に計上されている「00062 WB223720 二重管ダブルルッカー工法(削孔工)」において、薬液注入管用資材(先端キャップ、アダプター、ソケット等)は計上されていないと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>(131) 薬液注入管用資材(先端キャップ、アダプター、ソケット等)は計上していません。必要に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(132)「設計書 第0925号 事業損失防止施設費 内訳書」に計上されている「01260(D40ZC03300)家屋調査事前」及び「01261(D40ZC03500)家屋調査事後」の2項目についても、管理区分:9が設定されていると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>(132) そのとおりです。詳細は(178)をご参照ください。</p>
<p>(133)「設計書 第0940号 技術管理費 内訳書」に計上されている「01206(WJ102100)鑄鉄管布設 水圧試験 水圧試験機」の、1日当り損料と1口当り数量についてご教示下さい。</p>	<p>(133) (106)と同様です。</p>
<p>(134)「下位内訳書 AM00120号 防音ハウス工 内訳書」に計上されている「01024 SJ0450 防音パネ工 防音ハウス」で、屋根パネの仕様についてご教示下さい。</p>	<p>(134) 屋根パネルは標準パネル(Aタイプ)を使用しています。単価については、個別登録単価一覧表をご参照ください。</p>
<p>(135)「参考内訳書 共SJ0520号 H形鋼パイロ打込み 単価表」に計上されている「01235(WM117050)パイロハンマ杭打機運転」及び「01236(DGD10320)クレーン装置付トラック4t級2.9t吊」は、下水道用設計標準歩掛表 平成30年度 第1巻 管路 A-1-35に記載の(3)機械運転単価表を適用していると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>(135) そのとおりです。</p>
<p>(136) 発進立坑、到達立坑を含む、本工事ルート路線部の土質柱状図をご提示ください。</p>	<p>(136) (109)と同様です。</p>
<p>(137)「設計書 第0030号 鋼製さや管ボーリング推進工」に計上されている「メタルクラウン(鋼製さや管ボーリング)粘性土、φ550mm」の単価出展先並びに年度をご教示下さい。</p>	<p>(137) (98)と同様です。</p>
<p>(138) 内訳書 第0001号 管路土工に『試掘』[昼間][夜間]の項目がありますが、位置・形状・調査埋設物・箇所別数量についてご教示願います。</p>	<p>(138)「試掘」はNo.2到達立坑のある工事終点付近において埋設物の有無を、昼間と夜間あわせて11箇所想定しています。調査規模及び調査箇所は、現場状況に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(139) 内訳書 第0003号 管路土留工に『試掘』の記載がありますが、位置・形状・箇所別数量と昼間・夜間の作業区分及び損料期間についてご教示願います。</p>	<p>(139) (138)と同様です。なお、損料期間については横浜市水道局設計単価根拠集のとおりです。</p>

<p>(140) 内訳書 第0003号 管路土留工の[流量調整弁室部]について、管布設時の鏡切は計上してあると考えてよろしいでしょうか。また、管下の鋼矢板は引抜不可能と考えられますが、すべて鋼矢板賃料として計上されていますか。管下の存置鋼矢板は変更協議対象と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>(140) 管布設時の鏡切は計上しておりません。鋼矢板は賃料で計上しています。管下の鋼矢板については、現場状況に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(141) 内訳書 第0007号 流量調整弁室築造工について、均しコンクリートの型枠と基礎砕石の数量が図番 87/121 の図示形状と相違がありますがご教示願います。</p>	<p>(141) 設計書のとおり積算してください。現場状況に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(142) 内訳書 第0008号 管路防護工について、図面に記載されていませんが、施工箇所・形状および昼間・夜間の作業区分についてご教示願います。</p>	<p>(142) 防護箇所は次の2箇所となります。 <ul style="list-style-type: none"> ・第4路線、φ800, 73.25°部、昼間 (枝番 00441, 00442, 01293) ・第5路線、不断水切替弁部、夜間 (枝番 01294, 01295) 形状については、現場状況に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(143) 内訳書 第0009号 埋設物防護工 吊り防護工2箇所は、図面のどこに表示された埋設物の防護でしょうか。防護の詳細をご教示願います。</p>	<p>(143) 第4路線における管布設(開削)時に、埋設されている街灯ケーブルを一時的に吊ることを想定しています。</p>
<p>(144) 内訳書 第0012号 立坑工について、均しコンクリートの数量が図番 88/121 に図示されている形状と相違がありますがご教示願います。</p>	<p>(144) 設計書のとおり積算してください。必要に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(145) 内訳書 第0012号 立坑工について、鏡切工に計上されている数量は既設管φ1200とφ1100の各2箇所の計4箇所分なのでしょうか。今回布設の数量が不足していると思われませんがご教示願います。</p>	<p>(145) 設計書のとおり積算してください。必要に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(146) 内訳書 第0023号 No.1 発進立坑工[一次掘削]について、鋼矢板圧入の入力条件が6m以下となっていますが、図番 81/121 の図示寸法は、つかみ代を控除して6.5mとなり相違がありますがご教示願います。</p>	<p>(146) 設計書のとおり積算してください。必要に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(147) 内訳書 第0023号 No.1 発進立坑工[一次掘削]の鋼矢板・H形鋼(埋設)中古 8.388tにおいて、円形にするための加工費は計上されていないのでしょうか。加工費は変更協議対象と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>(147) (61)と同様です。</p>
<p>(148) 内訳書 第0023号 No.1 発進立坑工[圧入オープンケーソン工]について各項目の1式について数量をご教示願います。</p>	<p>(148) (130)と同様です。</p>
<p>(149) 内訳書 第0023号 No.1 発進立坑工[圧入オープンケーソン工]について、先行削孔工の削孔長が図番 60/121 に図示されていません。ケーソン着底深さまで必要と考えますが1本当り削孔長、砂置換長および施工基面高をご教示願います。</p>	<p>(149) 先行削孔の施工基盤高は整地高(46.5m)となります。削孔長、砂置換長はケーソン着底深さまでとなり49.753mとなります。</p>

(150) 内訳書 第0023号 No.1 発進立坑工[圧入オープンケーソン工]の据付工(工事用エレベータ)1式には、設置費およびエレベータ損料が含まれていると考えてよろしいでしょうか。	(150) そのとおりです。
(151) 図番61/121に図示されている1ロットと2ロットの打ち継ぎ目箇所フリクションカット(50mm)以外に95mmの切欠部分がありますが、図番60/121の構造図には図示されていません。ご教示願います。	(151) 図番60/121では図の縮尺の関係で95mmの切欠部分が描かれていません。なお、95mmの切欠部分について(228)をご参照ください。
(152) 内訳書 第0033号 立坑工 プレート(存置)1tにおいて、図番89/121数量表によると存置重量は1.976tになりますが、変更協議対象と考えてよろしいでしょうか。	(152) 設計書のとおり積算してください。必要に応じて別途協議させていただきます。
(153) 内訳書 第0033号 立坑工 管路埋戻(機械埋戻・バックホウ)10m ³ において、締め費用が計上されていると考えてよろしいでしょうか。	(153) (1)と同様です。
(154) 内訳書 第0033号 立坑工 管路埋戻(機械埋戻・バックホウ)12m ³ において、改良土の土質区分をご教示願います。	(154) (7),(8)と同様です。
(155) 内訳書 第0036号 No.1 発進立坑用地整備工[横矢板設置・撤去]について数量37m ² となっていますが、図番117/121から横矢板数量を算出すると差異が生じます。ご教示願います。差異は変更協議対象と考えてよろしいでしょうか。	(155) 設計書のとおり積算してください。なお、現場状況に応じて別途協議させていただきます。
(156) 内訳書 第0040号 路面復旧工 切削オーバーレイ155m ² において、施工箇所と寸法をご教示願います。	(156) 第5路線C交通で行います。既設管連絡部のライナープレート立坑及び雨水管切回しの影響範囲分の面積としています。
(157) 内訳書 第0940号 技術管理費 鋳鉄管布設水圧試験において、1口当りに使用する水圧試験機の損料日数をご教示願います。	(157) (133)と同様です。
(158) 内訳書 第0935号 役務費 電力量料金272097kwhは、本工事で使用するすべての電力量数量がここに計上されてますか。	(158) 電力料金272,097kwhには、第0015号、第0016号、第0018号で使用する電力量が含まれています。なお、別途「下位内訳AM00100枝番00965換気工」及び「下位内訳AM00120枝番01027換気工」の電力量料金は、それぞれの工種において計上しています。必要に応じて別途協議させていただきます。
(159) 内訳書 第0935号 役務費 借地料6390m ² 月は、どの位置で何m ² 借地するお考えでしょうか。	(159) 設計書のとおり積算してください。なお、土地の借上げに要する費用として計上しており、位置等の指定はありません。
(160) 内訳書 第0935号 役務費 電力量料金における単価には、再生可能エネルギー促進賦課金・燃料調整費が含まれますか。含まれる場合、何年何月の単価を考慮されていますか。また、夏期・その他時期の単価差の扱いをご教示願います。	(160) 横浜市環境創造局土木工事資材等単価表(平成31年4月)を使用しています。東電燃料費調整単価は4月分です。
(161) 内訳書 AM00100号 ブロワ設備工 換気工1台において、電気料金は含まれていないと考えてよろしいでしょうか。	(161) 内訳書 AM00100号 ブロワ設備工 枝番00965 換気工には電気料金は含まれていません。

(162) 単価表 SJ0070号 不断水切替弁室設置工の費用は計上されていないのでしょうか。ご教示願います。	(162) 内訳書 第0005号に計上されています。
(163) 単価表 SJ0520号 H形鋼バイプロ打込み10本当りにおいて、バイプロハンマ杭打機のベースマシン規格をご教示願います。	(163) (135)と同様です。
(164) 単価表 SJ0570号 坑内照明100m当りにおいて、アンカーボルトM10・M8の材質規格をご教示願います。	(164) 規格は、ホーク・アンカーボルトでそれぞれM10×70mm, M8×60mmとなります。材質はステンレスとなります。
(165) 施工条件明示書の8. 工事支障物件関係について、第2～4路線の電力ケーブル移設時期が令和4年4月～令和5年3月となっていますが、移設完了後までは施工ができないと考えて良いのでしょうか。ご教示願います。	(165) (84)と同様です。
(166) 土質柱状図が発進と到達付近にはありませんが、シールド掘削断面にはないため、路線の土質がわかりません。路線部の地質縦断図及び土性値などの開示を願います。	(166) (109)と同様です。
(167) No.1 発進立坑について、躯体の打継ぎ部には止水板を設置するのかどうかご教示願います。	(167) 止水板設置は想定しておりません。必要に応じて別途協議させていただきます。
(168) 泥岩の重金属含有量(自然由来ヒ素等)調査は、実施しているかご教示願います。	(168) 調査は実施していません。
(169) 発進立坑用地前の道路には歩道がありませんが、工事期間中の歩行者ルートについては、警察や道路管理者との協議事項と考えてよろしいのでしょうか。	(169) 工事期間中の歩行者ルートについては、交通管理者及び地元協議が必要と考えております。
(170) 発進基地では、昼夜ともに交通誘導員3名/日の配置となっていますが、誘導員の配置位置をご教示願います。また、夜間でも工事車両の出入り(土砂搬出)を見込んでいるのかが教示願います。	(170) 誘導員の配置については、指定していません。配置の決定に際しては、交通管理者との協議が必要と考えております。なお、夜間の工事車両の出入りは見込んでいません。
(171) 発進立坑用地の道路沿いに架空線がありますが、発進立坑用地整備工や防音ハウス設置撤去工施工時に支障となります。架空線の切廻しについて協議は実施されているかご教示願います。	(171) (83)と同様です。
(172) 発進立坑用地を通過し、住宅に直接入る道がありますが、住民との協議は済んでいるのかが教示願います。	(172) (71)と同様です。
(173) 図番113/121 NO.2 到達立坑作業帯図(参考図)において、昼間施工中は図の作業帯を道路に出し、作業終了後毎回作業帯を縮小し、道路を開放するお考えでしょうか。	(173) そのとおりです。
(174) 内訳書 第0023号 No.1 発進立坑工(圧入オープンケーソン工)について、②リフトの開口部2箇所は圧入沈設時にどのように処理するのかご教示願います。切削可能な材料や開口補強を行う場合は変更協議対象と考えてよろしいでしょうか。	(174) 躯体築造時、発進坑口部は無筋でコンクリートを打設します(図番65/121参照)。開口時は人力とりこわしとなります。特別な処置については、必要に応じて別途協議させていただきます。

<p>(175) 内訳書 第 0025 号 路面覆工工の H 形鋼 (山留主部材) 標準作業について、数量 5.92 t となっていますが、図番 84/121 から山留主部材を算出すると差異が生じます。ご教授願います。差異は変更協議対象と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>(175) 設計書のとおり積算してください。必要に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(176) 図番 112/121 No.1 発進基地設備概要図について、防音ハウスが図示されていますが、図番 81/121 No.1 発進立坑一次掘削土留工図と併せて考えると防音ハウスの基礎が宙に浮いた構造となります。このことについてどのようにお考えかご教授願います。部材及び基礎形状が変更となる場合は、変更協議対象と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>(176) 現場状況に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(177) 「積算基準」「建設物価・積算資料」「土木工事資材等単価表」「建設機械等損料表」の適用年月をご教示ください。</p>	<p>(177) (122), (123), (124), (125), (126) と同様です。</p>
<p>(178) 本工事で管理費区分が設定されている項目をご教示ください。</p>	<p>(178) 経費の管理費区分が設定されている項目は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理費区分 9 <ul style="list-style-type: none"> TJ0408 街灯ケーブル移設・復旧工 第 0043 号 管材等スクラップの全項目 SJ0010～SJ0050 「機械ボーリング」 TJ0406 「土質試験」 TJ0407 「水質検査 (水素イオン濃度)」 第 0925 号 家屋事前調査 (区分所有以外) 家屋事後調査 (区分所有以外) ・管理費区分 T <ul style="list-style-type: none"> SJ0080 「裏込め材」の水 SJ0090 「添加材」の水 SJ0140 「エアモルタル」の水 第 0045 号 発生土等処理の全項目 ・管理費区分 U <ul style="list-style-type: none"> 第 0046 号 材料費 (管材費) (ダクタイル) の全項目 第 0047 号 材料費 (管材費) (鋼管) の全項目 ・管理費区分 5 <ul style="list-style-type: none"> TJ0102 「刃口金物」 SJ0100 「機械器具損料 (1)」の TJ0226 「シールド本体」 TJ0227 「テールシール装置」 TJ0228 「カッターホイール本体」 TJ0229 「カッタービット類」 TJ0230 「スクリーコンベア本体」 TJ0366 「エレクトラ装置本体」 TJ0367 「スプレッド本体」 <p>管理費区分については、土木積算システム管理費区分一覧表のとおりです。下記 URL に掲載されています。</p> <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/kokyo/sekkei-sekoh/sekisan-system.html</p>

(179) 契約保証に係る補正は、金銭的保証でよろしいでしょうか。	(179) 現場説明書「7 設計書の基準等について」のとおりです。
(180) 生コンクリート 18-8-25 (高炉) は全て水セメント比 60%以下、24-8-25 (高炉) は全て水セメント比 55%以下でしょうか。	(180) そのとおりです。
(181) 第 0001 号内訳書 [試掘]の施工箇所をご教示ください。	(181) (138)と同様です。
(182) 第 0001 号内訳書 00102、00103 管路埋戻は機械投入、締めめでよろしいでしょうか。	(182) (1)と同様です。
(183) 第 0001 号内訳書 00127 発生土・As 塊・Co 塊処理、00130 土砂積込 BH0. 8m3 は昼間でよろしいでしょうか。	(183) そのとおりです。
(184) 第 0001 号内訳書 00104～00106、00125～00126 路盤工はそれぞれ上層路盤でしょうか、下層路盤でしょうか。	(184) 枝番 00104～00106 は(3)、(4)、(5)と同様です。枝番 00125～00126 は(9)、(10)と同様です。
(185) 第 0003 号内訳書 00136 軽量鋼矢板 人力(軽量金属支保含む)の支保材の基本料は計上されているでしょうか。	(185) (17)と同様です。
(186) 第 0008 号内訳書 管路防護の施工箇所、寸法をご教示ください。	(186) (142)と同様です。
(187) 第 0009 号内訳書 01218 吊り防護工の D2FD1310 は既設配水管 (φ 75～250 mm) に適用ですが、図 88/121 ではφ 1200 mmです。積算は設計書の通りで、別途協議となるでしょうか。	(187) 吊り防護工は(143)をご参照ください。また、D2FD1310 については横浜市水道局設計単価根拠集のとおりです。図 88/121 の既設管吊り防護図は、00392 既設管吊受防護設置撤去工 (TJ0166) となります。
(188) 第 0015 号内訳書 一次覆工 (鞘管工) で発生する建設汚泥の運搬・処分費は計上されているでしょうか。	(188) 運搬費は内訳第 0044 号 処分場等への運搬工 01341 発生土・As 塊・Co 塊処理、処分費は内訳第 0045 号 発生土等処理 01396 建設汚泥処理料で計上されています。
(189) 第 0023 号内訳書 01346 鋼矢板・H 形鋼(埋設)の単価は個別登録単価一覧表に記載の Y007014102-01346 鋼矢板市中価格 139,000 円の 90%でよろしいでしょうか。	(189) そのとおりです。
(190) 第 0023 号内訳書 01367 副部材 (A) の単価は個別登録単価一覧表 TJ0419 副部材 (A) 基礎価格×90%に記載の通りでよろしいでしょうか。	(190) そのとおりです。
(191) 第 0023 号内訳書 00302 据付地盤工 φ 14500 mmの工種内容及び数量をご教示ください。また、実施工との差異がある場合は別途協議となるでしょうか。	(191) (130)と同様です。なお、必要に応じて別途協議させていただきます。
(192) 第 0023 号内訳書 00305 ケーソン躯体構築工 φ 14400mm, RC 造, H=46. 3m の工種内容及び数量をご教示ください。また、実施工との差異がある場合は別途協議となるでしょうか。	(192) (130)と同様です。なお、必要に応じて別途協議させていただきます。
(193) 第 0023 号内訳書 00306 制御掘削圧入工で発生する建設汚泥の運搬・処分費は計上されているでしょうか。	(193) 運搬費は内訳第 0044 号 処分場等への運搬工 01244 汚泥吸排車運搬、処分費は内訳第 0045 号 発生土等処理 01396 建設汚泥処理料で計上されています。
(194) 第 0023 号内訳書 00308 先行削孔工 φ 1500 mm(砂置換)の建設汚泥の運搬・処分費は計上されているでしょうか。	(194) 計上しておりません。現場状況に応じて別途協議させていただきます。

(195) 第 0023 号内訳書 00310 坑内水揚排水処理工の工種内容及び数量をご教示ください。また、実施工との差異がある場合は別途協議となるでしょうか。	(195) (130)と同様です。また、必要に応じて別途協議させていただきます。
(196) 第 0023 号内訳書 00310 坑内水揚排水処理工の建設汚泥の運搬・処分費は計上されているでしょうか。	(196) 運搬費は内訳第 0044 号 処分場等への運搬工 01245 泥水運搬工、処分費は内訳第 0045 号 発生土等処理 01396 建設汚泥処理料で計上されています。
(197) 第 0024 号内訳書 00417 グラウト工のグラウト注入材料費(深礎工)はグラウト材注入用モルタル(ライフプレート用)でよろしいでしょうか。	(197) (23)と同様です。
(198) 第 0026 号内訳書 補助地盤改良工の排水汚泥の運搬・処分費は計上されているでしょうか。	(198) 計上しておりません。必要に応じて別途協議させていただきます。
(199) 第 0028 号内訳書 00157、第 0037 号内訳書 00633 路盤工はそれぞれ上層路盤でよろしいでしょうか。	(199) (3)と同様です。
(200) 第 0032 号内訳書 00447 底部工 モルタル上塗り工 モルタル練の砂は洗砂 コンクリート用骨材 細目でよろしいでしょうか。	(200) (57)と同様です。
(201) 第 0035 号内訳書 補助地盤改良工の排水汚泥の運搬・処分費は計上されているでしょうか。	(201) (198)と同様です。
(202) 第 0036 号内訳書 01337 仮囲門扉設置撤去工のコンクリート工は施工パッケージの人力打設(小型構造物)、一般養生で生コンクリートは 18-8-25(高炉)水セメント比 60%以下でよろしいでしょうか。	(202) (40)と同様です。
(203) 第 0036 号内訳書 01337 仮囲門扉設置撤去工の型枠工は施工パッケージの小型構造物でよろしいでしょうか。	(203) (40)と同様です。
(204) 第 0036 号内訳書 01337 仮囲門扉設置撤去工のゲート 6.0m×4.0m の単価は個別登録単価一覧表 Y3G3010010-01337 ゲート 6.0m×4.0m の単価 80,000 円でしょうか、80,000/2 の 40,000 円でしょうかご教示ください。	(204) ゲートの単価は、160,000 円/2 の 80,000 円となります。
(205) 第 0039 号内訳書 00618 削孔費は夜間と記載されていますが、昼間単価と夜間単価の違いはあるのでしょうか。	(205) (74)と同様です。
(206) 第 0039 号内訳書 00607 路盤工は上層路盤でよろしいでしょうか。	(206) (3)と同様です。
(207) 第 0039 号内訳書 01312 路盤工は下層路盤でよろしいでしょうか。	(207) (3)と同様です。
(208) 第 0040 号内訳書 01215 L 形側溝築造の歩車道境界ブロックは A 種(150/170*200*600)でよろしいでしょうか。	(208) そのとおりです。
(209) 第 0040 号内訳書 01270~01273 区画線設置は 1000m 当りの代価から 1m 当りの単価を算出しているのでしょうか。	(209) 枝番 01270, 01271, 01273 の区画線設置は、横浜市土木工事標準積算基準書(平成 30 年度)「VI-1-①-1」のとおりです。
(210) 第 0041 号内訳書 01332 低圧電動機設備の漏電遮断器 600V 3P 30AF は寺崎電機産業の E30NF でしょうか。異なる場合は単価をご教示ください。	(210) 個別登録単価一覧表の V001208004-01332 の単価のとおり積算してください。

(211) 第 0041 号内訳書 01333 工事中用照明で工事中用照明 10 個当りのランプの個数は 10 個でよろしいでしょうか。	(211) そのとおりです。
(212) 第 0041 号内訳書 01334 切羽照明で切羽照明 10 個当りのランプの個数は 10 個でよろしいでしょうか。	(212) そのとおりです。
(213) 第 0044 号内訳書 01341 発生土・As 塊・Co 塊処理、01244 発汚泥吸排車運搬、01245 泥水運搬工の汚泥、泥水の発生する工種をご教示ください。	(213) 第 0044 号内訳書において、01341 発生土・As 塊・Co 塊処理については第 0015 号「一次覆工（鞆管工）」及び第 0030 号「鋼製さや管ボアリング推進工」となります。 01244 発汚泥吸排車運搬については(193)をご参照ください。 01245 泥水運搬工については(196)をご参照ください。
(214) 第 0925 号内訳書 01260 家屋事前調査(区分所有以外)は施工条件明示書の 4 家屋調査に概査とあるが、内訳書の通り精査でよろしいでしょうか。	(214) 設計書の通り積算してください。実施詳細は、現場状況に応じて別途協議させていただきます。
(215) 第 0935 号内訳書 01336 電力量料金は、「その他季」料金を再生可能エネルギー発電促進賦課金及び燃料調整費を加算した単価でよろしいでしょうか。	(215) (160)と同様です。
(216) AM00100 号内訳書 00965 換気工の【366 日】は運転日数、【596 日】は供用日数でしょうか。また、1 台当たりの電力料の数量と 1 日当たりの軸流ファンの損料をご教示下さい。	(216) 日数については、そのとおりです。電力量の数量については機関出力×電力消費率×運転日数×運転時間から算出しています。損料については建設機械等損料表の記載事項を使用しています。
(217) AM00120 号内訳書 01027 換気工の 1 台当たりの電力料の数量と 1 日当たりの軸流ファンの損料をご教示ください。	(217) 電力量の数量については機関出力×電力消費率×運転日数×運転時間から算出しています。損料については建設機械等損料表の記載事項を使用しています。
(218) AM00120 号内訳書に防音ハウスの基礎 H 鋼の材料費及び設置撤去費は計上されているでしょうか。	(218) 基礎 H 鋼の材料費及び設置撤去費は、参考内訳書 SJ0460 鉄骨工で計上されています。
(219) 共 SJ0070 号単価表 00556 モルタル練の砂は洗砂 コンクリート用骨材 細目でよろしいでしょうか。	(219) (57)と同様です。
(220) 共 SJ0440 号単価表のまるめはなしでしょうか。	(220) 設計書のとおりに積算してください。
(221) 共 SJ0510 号単価表 01101 電力量料金高圧(常時)は個別登録単価一覧表 Y017500001- 00965 電力料と同様でしょうか。	(221) そのとおりです。
(222) 共 SJ0520 号単価表 01235 ハイロハンマ杭打機運転は下水道用設計標準歩掛表の P46 (3) 機械運転単価表の油圧ショベル装着式ハイロハンマ杭打機 最大起振力 88.3 kN でよろしいでしょうか。異なる場合はご教示下さい。	(222) (135)と同様です。
(223) 共 SJ0520 号単価表 01236 クレーン装置付トラック 4t 級 2.9t 吊は下水道用設計標準歩掛表の P46 (3) 機械運転単価表のクレーン装置付トラックでよろしいでしょうか。異なる場合はご教示下さい。	(223) (135)と同様です。

<p>(224) 図面 60/121 NO, 1 発進立坑構造図において先行削孔平面図が記載されておりますが、削孔深度の記載がございませんので、ご教示願います。</p>	<p>(224) (149)と同様です。</p>
<p>(225) 図面 60/121 先行削孔配置図を確認したところ、ケーソン内壁と中心部の先行削孔箇所との距離が離れており、ドレッチャーバケツでの掘削が困難になる事が想定されます。詳細検討の結果、先行削孔本数が増となった場合は設計変更の対象となるのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>(225) 必要に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(226) 図面 60/121 NO, 1 発進立坑構造図において各ロットの打継目に止水板の記載がございません。止水板設置の場合は設計変更の対象となるのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>(226) (167)と同様です。</p>
<p>(227) 図面 60/121 NO, 1 発進立坑構造図に記載のある圧入機材ですが、配筋図を確認したところ鉄筋の飛び出しが躯体天端から約 2m 程度であり、支圧桁と干渉すると思われます。配筋構造の変更等が必要になった場合は設計変更の対象となるのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>(227) 必要に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(228) 図面 60/121 NO, 1 発進立坑注入配管ですが、周面摩擦低減工及び CB 注入に用いると思われませんが、設計上考えられている周面摩擦低減工は滑材注入工もしくは、NF シート及びエアージェットのどちらでしょうか。ご教示願います。なお、図面 61/121 No. 1 発進立坑配筋図(1)の 1-1 断面及びかぶり詳細図には NF シートマガジン設置用と推定される切欠きが、刃口部ロットと①ロットとの打継ぎ位置に設けられていますので、NF シートの場合は図面を開示していただけないでしょうか。</p>	<p>(228) 周面摩擦低減工は懸濁液注入工となります。躯体形状（切欠きの有無）については必要に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(229) 図面 117, 120/121 左記に示した図面において NO, 1 発進立坑位置に相違があると思われま。立坑位置は、どちらの図面を正として考えればよいのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>(229) 発進立坑位置は図面 117/121 が正です。</p>
<p>(230) 発進立坑ヤード周囲に仮囲いを設置する計画となっておりますが、立坑周囲に打設する鋼矢板と干渉し施工方法に変更が生じた場合は設計変更の対象となるのでしょうか。</p>	<p>(230) 現場状況に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(231) 図面 114/121 NO, 1 発進立坑施工時において防音壁を設置して施工する計画となっておりますが、立坑並びに一次掘削用土留めとの位置関係が判る図面を開示して頂けないでしょうか。同様に、シールド施工時における、立坑並びに一次掘削土留めと防音ハウス基礎との位置関係が判る図面を開示して頂けないでしょうか。</p>	<p>(231) 現場状況に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(232) 図面 114/121 防音壁寸法を確認したところ、発進立坑施工に必要な各種設備（圧入機材・足場・型枠等）置き場の確保が困難と思われま。設計における発進立坑仮設ヤード計画図を開示して頂けないでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>(232) (231)と同様です。</p>

<p>(233) 発進立坑施工に伴い、クローラークレーン等の大型重機をトレーラーにて運搬する必要がありますが、運搬及びヤードへの進入は問題ないものとして考えて良いでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>(233) そのとおりです。</p>
<p>(234) 現状の発進立坑ヤードにおいてクローラークレーンの組解体及び点検等の作業が問題なく行える大きさであると考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>(234) そのとおりです。</p>
<p>(235) 発進立坑ヤードへの車両進入のための門扉及びシャッターですが、幅 6m の設計となっております。詳細検討の結果、拡幅が必要になった場合は設計変更の対象となるのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>(235) 現場状況に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(236) 図面 60/121 発進立坑の側壁部に使用するコンクリートは 21-12(普通)セメントになっておりますが、温度ひび割れ解析の結果、材料変更の必要が生じた場合は設計変更の対象となるのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>(236) 現場状況に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(237) 設計上の工期算出において、先行削孔工を 2 班にて施工する計画となっておりますが、詳細計画立案の結果、2 班での施工が困難(重機配置等)な場合は、工期延伸の対象となるのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>(237) 現場状況に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(238) 仮囲い及び工事用門扉は、整地時に設置し防音壁設置時に撤去、防音壁解体後再設置し最終工期までの設置と考えて宜しいですか。</p>	<p>(238) 仮囲い及び工事用門扉は、整地前に設置し、防音ハウス撤去後に撤去します。</p>
<p>(239) 図面 100/121 No. 1 発進立坑昇降設備は、次期工事へ引き継がれるのですか。それとも今回工事で撤去と考えるのですか。</p>	<p>(239) 今回工事で撤去します。</p>
<p>(240) 図面 9/121 施工条件で第 1 路線において夜間交通誘導員が 3 名/日配置となっておりますが、工事車両の搬入がなくても配置が必要でしょうか。</p>	<p>(240) 必要に応じて別途協議させていただきます。</p>
<p>(241) 設計書 P82 第 0044 号処分場等への運搬工の項目で、汚泥運搬「発生土・As 塊・Co 塊」「汚泥吸排車運搬」「汚水運搬工」は、どの工種の運搬かご教示願います。この 3 つの数量の合計が、汚泥処理料と考えてよろしいですか。</p>	<p>(241) 運搬については(213)と同様です。汚泥処理料についてはそのとおりです。</p>
<p>(242) 設計書 P82 第 0044 号処分場等への運搬工の汚泥運搬距離が 28.5Km 以下、22.6km 以下、18.6km となっております。施工条件明示書では処分先は栄伸産業㈱と記載があり、距離は 22.0km と想定されますが、どのように考えればよろしいのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>(242) 工事場所から栄伸産業㈱までの距離は 18.6km としています。ご質問の 3 つの代価における入力条件の選択肢において、今回距離を当てると、設計書にある入力条件どおりになります。よって、設計書のとおりに積算してください。</p>
<p>(243) 設計書 P31 第 0012 号立坑工夜間コンクリートの数量が 9.1m³ となっておりますが、88/121 既設管接続部仮設図から厚さは t=500mm であり、夜間コンクリート数量は 22.8m³ ではないでしょうか。</p>	<p>(243) (144)と同様です。</p>

(244) 設計書P44 第0024号No.2到達立坑リフト(存置)の数量が17.0mとなっています。図面から計算すると17.5mではないかと思われませんが、いかがでしょうか。	(244) 設計書のとおり積算してください。必要に応じ別途協議させていただきます。
(245) 残土仮置場は、何km以内、何m ² の何処をお考えですか。又、借地を紹介していただくことは可能ですか。	(245) (159)と同様です。また、借地の紹介はいたしません。
(246) 設計書P28 第0008号管路防護工の防護する管の位置をご教示願います。	(246) (142)と同様です。
(247) 設計書P40 第0022号坑外設備工の濁水処理工において、参考内訳書P4に泥土運搬工927回となっております。これは設計書第0044号処分場等への運搬と関連しているのでしょうか。また処分量は第0045号発生土処理のどの項目と関連しているのでしょうか。ご教示願います。	(247) 処分量は計上しておりません。必要に応じて別途協議させていただきます。
(248) 隣接民家所有と思われる自家用車が、現状、発進基地予定地から出入りしているようですが、工事着工時には出入りは無いものと考えてよいでしょうか。	(248) (71)と同様です。
(249) 設計書第0032号 排水人孔築造工における底部工について、1箇所当りの砕石、コンクリート、型枠、モルタル上塗りの各積算数量をご教示願います。	(249) 横浜市環境創造局、横浜市下水道設計標準図(管きょ編)によります。
(250) 参考内訳書SJ0510号 防音ハウスにおける電力料料金一高圧(常時)の単価は、東京電力が電気供給約款及び電気需要約款に設定している電力量料金に燃料費調整単価(2019年4月分)及び再生可能エネルギー発電促進賦課金を加算した料金と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	(250) (160)と同様です。
(251) 設計書第0925号 事業損失防止施設費における家屋事前調査および家屋事後調査について、摘要欄は空白ですが、率計算の非対象と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	(251) 家屋事前調査および家屋事後調査については管理費区分9が適用されており、率計算の対象となりません。管理費区分の詳細は(178)をご参照ください。
(252) 土木工事積算基準;横浜市水道局(平成31年4月)7頁記載の間接工事費等の項目別対象表には、管材費は原則1/2の金額が共通仮設費及び現場管理費の対象とされております。本工事の積算において、管理費区分:Uと記載の管材費は、1/2の金額が共通仮設費及び現場管理費の対象、全額が一般管理費の対象と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	(252) そのとおりです
以下余白	以下余白